

刊夕日四廿月二十

# 常磐每日新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
 廣告料 五字一円 十字二円 二十字四円 三十字六円 四十字八円 五十字十円  
 日曜 祭日 休刊  
 印刷所 常磐毎日印刷株式會社  
 發行所 常磐毎日新聞社  
 電話 六二〇〇番

## 陣中想出話 (三)

平町出身  
 歩兵第十九聯隊 水野重光  
 第三中隊

### 備難感

▼吉敦線二九一橋梁警備難感  
 四圍の風物は已に紅葉し萬山は色とりどりの模様のある色葉に飾られて居ります、四季の定めなき當地にはすぐに木枯し吹き荒ぶ酷寒が襲ひ來るでせう。

四方に展望を有する高地に堅固な銃眼にて造られた家屋あり、これが目下吾々の起居する二九一橋梁警備の下士哨舎なのです、幾百の兵匪には驚かぬが附近には支那部落もない、強兵共は無量の淋しさをうつつたへて居る。

夜蔭月光を浴びて祖國の事など思ふ、時木霊して聞ゆるものは餌をあさる猛獸や妻戀ふ鹿の聲のみ。情緒豊かな昔の俚語に鹿の鳴く聲聞けば昔が戀しちやならぬとか。

實に浮世離れた奥山住居です。哨舎の下には清流あり光々たる金波銀波を呑んでむせぶが如くにせうらぎの曲をかんでつゝ流れ去る。昔物語りにある山賊の生活が思はれる。鹿や猿の肉で腹を肥してゐる。現状も

内地では到底味う事の出来ぬ事だ。こうした山間生活の愉快さもまた稿を改めて記載致します。

### 山かけ

▼山かけ  
 黄泥河の秋は最早や暮に近い、便所の手洗鉢水も毎朝かんかん凍つてゐる。

### ノット

凍傷は主として食血の人や心臓の弱い人に多いのですから平生よく運動やマツサージを行つて血液の循環をよくしておかねばなりません。

蒲の穂がかば色に枯れて黄色の草の間につくねんと立つてゐる。展望哨は木枯に吹きまわられてゐる。晝食後飛弾に蓬田を護衛として山かけの地形を偵察に出かけた。鐵條網の東側のぼつて行つた。眞黒な土の大豆畑に出た、大豆は刈つた

### 二明日の献立

【朝】きんぴら煮—はす餅  
 【晝】ねぎなんばん—あぶり餅  
 【晩】煮べー里芋—こんにやくがんとどき—ちくわねりからし

「大刀會の奴、此の邊で〇〇聯隊にやられたんだな」  
 「大部通つた足あとがあるぞ」  
 「三四十名此處でやられたさうだ」

など、話しつゝ進んで行くと思つて行つて見ると、頭蓋骨、肋骨、大腿骨等彼方此方に散亂してゐる、野犬が狼が食つて引づり廻した形跡がある、靴の中には足の骨がそっくり入つてゐる一ヶ月ばかりしかたゝないのにきれいに骨ばかりになつて草の間に轉がつてゐるチユツ！と唾をはきながら三人は山のかげを行つた、眞紅に紅葉した名も知れぬ草もあつた、木の切株に「なでしこ」が一輪咲いてゐるも愛らしい姿である。

偵察を終つて歸る途中雉を三羽発見したが射撃する間もなく機敏に逃げてしまつた、俄かに空が眞黒に包まれ大粒の雨が降つて來たので急いで兵舎に歸つた。

## 市原醫院

平町 田町  
 電話 一一四番

## 外科

X 光線科  
 性病科  
 外科  
 科  
 入院 隨意

平町 田町  
 安齊外科醫院  
 電話 四七五番

## 金銀高價買入

質札は(金時計鎖指輪類)有利に御相談致します  
 平町二丁目(三幸堂跡)

## 根本時計店

電話 六〇七番

### ◇日本一低廉保險◇

## 愛國生命保險株式會社

## 有給社員募集

履歷書持参本人來談あれ！  
 平代理店 松崎長三郎  
 平町新川町

### 修理部 ●記念二割引特賣

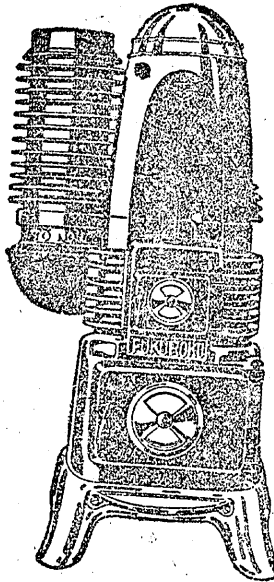
伸好堂選セントラル萬年筆  
 ハーモニー式 一・五〇錢ヨリ  
 標準型 一・〇〇錢ヨリ  
 御買求めに絶好のチャンス  
 豊富なお品より御氣に召す御選定を！  
 振袖小路 伸好堂  
 電話(呼)五三八番

## 江戸前料理 倉倉

寄なべ はなべ 鳥なべま  
 ちりなべ かきなべ  
 ▼出前！迅速！▲  
 錦 水  
 電話 四五四番

### 嚴冬の征服者

福祿ストーブ  
 戸に毎に福祿!!!四海は常春!!!



電話三七番へ

カタログ御申越下さい早速持参致します  
 福祿ストーブ福島縣一手販賣

## 阿部石炭商店

平停車場前

平新川町十九

## 木村病院

電話 一六四番

外科 産婦人科  
 産婦人科 院長 木村寅次郎  
 内臓外科 醫學士 内木宗八  
 整形外科 泌尿器科

## 吉田眼科病院

平新川町、電話 六八番

### 初代議長は

#### 井上茂作氏か

けふ町會で正副議長制附議

平町會は本日午後一時から開かれ議長副議長制度新設や警備費の委員設定を附議したが正副議長は議員數廿六名以上を有する町會は都市に準ずるものとして是れを置く事の出来る規定になつて居り青沼町長新任後先づ抱負の一端を實現するキツ掛けとして此の制度を用ゆる事になつたものであつて條例改正の手續を運び内務省より多分明年二月頃迄には認可ある豫定であり認可に接すれば直ちに町會の選舉に依つて正副議長を決定し議事の圓滿を圖る事となる段取りだが今の處議長としては井上茂作氏の呼び聲最も高いと

### 小名濱町長の後任

#### 今度はタラヒ廻し

水野元郡長説がだい頭 伏見氏は最後の切札に

既報石城郡小名濱町の後任町長問題は前平町長として手腕力量に富む伏見彦衛氏に白羽の矢を立て 交渉する 事になつた 處其のに至り一部有力者間には伏見氏は人物手腕共に申分なきも病氣職に不堪と 餘程困難 であらうとの見解から此の際伏見氏案は最後の切札とし他に候補者を見出すべしとの意見が

### 怪物の正体は?

見知り越しの按摩さん

捕り者エピソード

歳末の犯罪豫防に血眼の平署では去廿二日から全管内に亘つて特別警戒網を張つてゐるが... 此の非常命令を受...

有力に行はれ出し元石城郡長で温厚然も識見手腕共に優れた水野虎三郎氏を擁立せんとする者も現はれ この空氣 は次第に濃厚となつてゐるから或は水野氏の小名濱町長就任が實現するのではないかと豫想される

### 餘るネギを

#### 東京市場へ移出

石城郡神谷、夏井、大浦其他各地より大量生産される葱は毎年郡下の需要量を超過する結果徒らに相場を低減せしめ農家を苦しめるので是が對策として郡農會では葱の東京進出を計畫し去る廿二日夏井、神谷兩村農各聯合し東京販賣幹旋所へ八噸車一臺の葱を輸送した

### 泉村俵米

品評會を開く

石城郡泉村農會では過般同村小學校に於て俵の製作講習會を催したが更らに來る廿六日午前十時より俵米品評會を開くと

### 平商の

#### 成績優良者

平商業學校にては本日第二學期の成績發表をなしたが各學年の成績優良者は左の

- 如くである (一年)江名賀澤定男 平西山馨 江名黒川壽三 (二年)好間内村實 上小大高正己 小川齊藤一川夫(三年)相馬木幡八十八平若松武平 平木田英夫 (四年)湯本四家肇 内郷樽石勇助 平吉田静磨 (五年)富岡外村武夫 好間武田善之助 内郷永山忠男

### 教育役員協議

石城教育會役員會は本日午後一時より平第一小學校に於て開き來年度の豫算編成及び來學期開催する教務主任會に關する打合せを行つた

### 平第二校の

珠算優賞者 小學校にては昨日午前九時より珠算競技會を開催したが出場者は尋常科第五學年以上六百三十九名にて各學年選手の入賞順位は左の如くである

- (五年)正木千鶴 大谷トシノ 田口トシ 菅野文 栗田ケイ子 高木ミネ 金田勝子(六年)松本節恵 新妻セイ 力藤千恵 深田良子(高一)鈴木テラ 渡邊泰子 木田ミツル 大塚ツネ(高二)村上文豊 田ツタ 根本八重 和田登美子

### 生産品二割增收

入遠野と錦の兩村準備

石城郡入遠野錦の兩村は今回農林省の農家經濟五ヶ年計劃の指定村と決定したので兩村共農家生産品の二割增收消費經濟の徹底を期して準備中であるが入遠野村では去る廿日早くも廿名の實行委員を擧げ村經濟上信用組合の設置運動を起す等具体的な運動を開始した

### 裁判所忘年會

平才判所にては二十六日午後五時より住吉屋本店にて忘年會を催すと

### 平町人事

△久保町二 國井宗一氏長 美代子

### 警女の受験生

磐城高等女學校四年生及び卒業生左記八名は明日より三日間施行される東京女子高等師範學校受験の爲め今朝平發七時二十五分にて上京した

### 菊田農事研究

石城郡勿來町菊田農會では來る卅日午前十時より二町三ヶ村聯合の第四回農村研究會を川部小學校に催し郡農會柴田枝手の講演があると

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎 文庫 (申込次第規則書進呈)

看護婦急派 の求めに應 じます 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院 平町南町 電話一〇七番

# ゆる靈鑛區を種に

## 七千圓を詐取

### 赤井村に潜入した處を捕る

## 余罪も多數ある

當時住所不定無職青森縣青森市榮町七五生れ詐欺前科一犯西現忠作(通稱)は自分は石城郡赤井村川瀬炭礦附近にある三菱所有の鑛區中上層全部の採掘權を有し數年來鐵道省へ毎年平均五千噸の納炭をなして來たが鐵道省から今年分の料金を交付されないうで困るからと稱し去る六月中東京市淺草區千束町金融業杉浦基之から五千圓其の後數回に亘つて合計六千七百圓を騙取した事を此程に至り平署で探知各地に手配西現の行方を捜査中であつたが數日前當地地方に入り込み赤井村東赤井愛宕津今田久治方に潜伏何事か劃策してゐるのを廿二日午後七時平署安藤刑事部長が踏みこんで逮捕本署に引致目下嚴重

取調中であるが他にも同様手段で多數の犯行があるらしい

の度北海道東北各地の講演を終つて歸京の途次地元有志の熱心な招聘に應じて來平したものである今や國運を賭しての聯盟戦に臨んでゐる折柄新國家滿洲國を中心とする全世界の動亂は果して

# 舌端火を吐く

## 世界戦争

### 批判の大熱辯

#### 明夜聚樂館で

講師は法學士の支那浪人竹内眞英氏

國防普及會主催の世界戦争批判大演説會は明廿五日午後六時から平町聚樂館に於いて平町

在郷軍人 分會、警城時報、警城新聞社に本社、地元三新聞社聯合後援の下に盛大に舉行される事とな

つたが當夜は支那滿蒙浪人を以つて廿年支那研究究に全力を傾注してゐる黒龍會同人法學士竹内眞英氏で同氏の該博なる滿蒙支那の智識と舌端火を吐く其の熱辯は夙に東都の絶讃を博してゐる處で此

## 警中の職員

### 禁酒を申合

#### 非常時に際し

#### 忘年會も廢止

警城中學校職員一同は昨日國家非常時の折柄禁酒する事を申合せ忘年會等も廢止する事にしたと

### 警中柔道練習

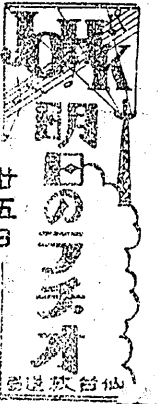
中學校柔道部にては來る三十一日迄練習を行ふと

## 各戸一名宛出動

### 通學道路を改修

石城郡内鄉村大字高坂字御殿地内廿五戸の居住民は小學兒童の通學道路の改修を

行ふべく過般親和會を組織し毎日各戸より一名づゝ出動して奉仕的に部落村道の



今晚は北西の晴れ曇り相半し明日は北東の風曇り一時晴れ

### 今晚の部

後六、〇〇 講演「萬國婦人の子供博覽會開催の主旨」  
後七、三〇 「クリスマス」  
の夕  
後七、三〇 小崎朝子(讀美歌合唱)富士見町教會日曜學校生徒(お話し)「一番初めのクリスマス」  
西坂保治(クリスマス・マスカ)

紀要に終るか否か愛國熱血の人竹内法學士の大獅子吼は現下全世界を蔽ふ風雲を解く鍵として期待される

## 義妹の糸を引く

### 各所の飲食店を騙る

#### 生活難の失業者

石城郡内鄉村大字宮字平太郎居住元坑夫加藤正吉(通稱)は炭礦を失業して生活難に追はれた結果同人の義妹石崎トヨ(三)の糸を引いて下向より須賀川白河方面飲食店數件より八十餘圓を騙取した事發覺し目下平署で取調中である

## 小名濱町

### 細民救済

#### 同情袋の寄附

石城郡小名濱町では歳末の町内居住細民救済の爲め全町各戸に同情袋を配布寄附の募集中であつたが昨廿二日のべ切當日まで合計二十五圓の現金と衣類四百五十点、白米八俵の寄附があつたので今明中に配布する筈

## 平商制服

### 嚴守事項決定

平商業學校にては昨日午後一時より職員會議を開いて來る三學期より正制服を左の如く器守する事になつたと

- 一、必ずカラーを付ける事
- 一、絶体にラッパズボスを禁ずる事
- 一、ズボンの脇ポケットを廢し前ポケット一つにする事

氣象通報 番組隊  
明日の部  
前九、一〇 榮養料理 榮養研究所  
前九、三〇 子供の時間 お話「大正天皇の御事ども」子爵梅園篤彦  
前一〇、四〇 講演「經濟的自由主義の回顧と展望」大阪商大教授經濟學博士藤澤夫  
前一、一〇 謠曲講座 謠曲の道しるべ(終)實演觀世左近 解説池内信嘉  
後〇、五〇 謠曲「はやし」張良「山本博之」  
後一、三〇 人情噺「幾代

餅「橋家扇三」  
後二、〇〇 箏曲 宮城道雄外  
後二、三〇 獨唱と管絃樂 獨唱伊藤敦子  
後三、〇〇 浪花節  
後六、〇〇 子供の時間 管絃樂「コナサロン」J・O・A・K 唱歌隊  
後六、三〇 講演 池崎忠孝  
後七、三〇 雅樂  
後八、〇〇 合唱と管絃樂 聖譚曲「起りよ夜は明けぬ」新交響樂團練習より中繼  
後八、四〇 新講談「大正天皇の御代」伊藤痴遊

平職業紹介所報告  
回人を求める方  
△女中 二十才 高卒 給料面談(平町某)  
△子守 十七才 尋卒 月三圓位(平町某)  
△配達集金 十九才 尋卒 給料歩合(平町某新聞店)  
△塗師手傳 十八才 尋卒 日給五十錢位(平町某)  
回職を求める方  
△事務員 二十一才 中卒 給料面談(大浦村某)  
△小使 三十八才 農學半退 給料面談(平町某)  
△書生 二十一才 中卒 給料面談(内鄉村某)  
△鍛冶工 三十才 尋卒 給料面談(仙臺市某)  
△女中 四十二才 無學 給料面談(平町某)

# 幕末の剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第二百三十三席

平手造酒

食料缺乏で大弱り

勢力富五郎は夏目の金比羅山に自分の榮助と共に潜伏してゐたが食料が乏しくなりました、これは困つた籠の村から買つてくる事も出来ない、それは目明しや役人が此邊に手を廻して居る爲め

榮「親分弱つたせ鯨節もだん／＼無くなつて来た又今の陽氣では木の實もなしによ／＼食べるものがなくなつたなれば何うなませう……」

富「何うなるものか死ぬだらう」

榮「そいつは心細いな斬り死をするのは勇ましいが食はずに居て身體が干固まつてしまふは形がよくねえ死際が悪いな」

富「その中には何とかして持つて来るぞ、また二三日は鯨節でしのぐ事も出来ようそれまでこらえてろ」

榮「これを考へると加藤清正はよく尉山で籠城した朝鮮軍記で見ましたがね、馬の肉を食へたさうでまあ清正は強い人でしたから我慢もしたで御座いませうが先代萩の鶴喜代の千松はさぞ苦しかつたらう、芝居で



ころを忍ぶが男だ」

榮「男などに生れてくるものではない、では親分の鯨節をわたくしが喰ひますせオヤ／＼段々鯨節の肉が落ちて来た大病にかゝつた人間のやうだ日毎に影が薄くなりますます人間は死んでも形は残りますが鯨節は形も

たり義太夫で聴く時は面白と思ふが自分が腹を空らすとしてみ／＼氣の毒になります何時の世から生物は食はずば死ぬやうな事になつたか」

残りぬえ」  
なぞと日々細くなつて行く鯨節をうらめしうに見てゐる、すると其の翌日の晝頃でしたが南の方からこの山に登つて来るものがある、勢力に榮助が社の内から見るとそれへ来たは米を肩にかついだ若い男確に依にあるは米と見て榮助は嬉しさに飛び上つた

れと賣るために擔いでゐるわけではねえわした猿田の吉兵衛大盡の若い者で七助といふものでございませう、船戸の文右衛門さんとのころへこの米を届けます、さうゆうわけでお前に賣る事は出来ぬえ」

前さんがこゝにゐるとは氣がつくめえ山にゐる事が判つたならば押してくるだらう」

富「さうかまことに氣の毒だがこの米を賣つてくれ金さへ出せば買ふことも出来ようこゝで俺に買ればとて船戸まで行く途中で米を買つて行くがよい」

七「ハイ判りました、では米を賣りませうわしのもならば只遣るだが主人のものでやるわけにはいかぬえ」

**梅毒** 淋病 皮膚病 婦人病 胃性 腸病

**松村** 院醫科

〇七一話電

**たしの素景品付賣出し**

美味で經濟な液体たしの素は臺所を預る奥様や娘様方には是非御使用を御願いたしますと満足します

京一だしの素 四合瓶一本 四十五錢  
二合瓶二本 五十錢

尚紀念として京一醬油一升御買上毎に景品券を差上げます

特等腕時計 一等醬油六ヶ月間進呈又萬年筆 二等醬油三ヶ月間進呈又ハンシャープペンシル 三等ダシノ素大瓶一本 四等ダシノ素小瓶一本 五等石鹼制箸マツチノ内一ヶ全部空籤ナシ

期間 十二月十五日ヨリ二月十五日マデ  
發表 二月二十日

新川町新藤屋隣 **京一醬油直賣所**

**お醬油は ヤマフル**

醬油味噌  
たひら正宗  
鯨節食料品

**山崎合名會社**

鹽屋

福島縣平町電話營業部三醸造工場  
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥

**靈効散 (無効返)**

松前 家傳

ホントに北海道で出来た靈藥が着荷致しました。今迄のは福島市内で製藥したので兎角の批評がありましたが今度のものは真正のもので奏効確なものであります。服用しなくては其の眞價が判りませんから、皆様見本品を差上げます。御遠慮なくいらつしやつて下さい。見本品でも二日間飲まれますから胃腸病に苦しむ方、惱病、心臓、痔疾の方は是非御試し下さい。クセにならず根治致します。小兒用の靈効散も出来ました。

定價 試用分(八日分) 輕症用(廿日分) 五十錢  
重症用(四十五日) 壹圓

販賣部 地方代理店 **阿康藥舖** 電話四四番